

# 『ひと』特集一覧

印は品切れ

子どものための教育宣言	1973年2月号
「評価と評定」について	1973年3月号
新しい私塾づくり運動	1973年4月号
学校に何を期待するか	1973年5月号
父母は何ができるか<PTA>	* 1973年6月号
通知票・指導要録・内申書	1973年7月号
こんな夏休みがすごせたら	1973年8月号
子どもは人質か	1973年9月号
市販テストの問題点	1973年10月号
教育をとらえなおす本	1973年11月号
母親として、教師として	1973年12月号
授業で勝負する	1974年1月号
英語教育をめぐって	1974年2月号
子どものための学校づくり	1974年3月号
これからの教育をどうするか	1974年4月号
遊びをみなおす	1974年5月号
授業のなかでの評価	1974年6月号
学校の規則をみなおす	1974年7月号
教育にとって教科書とは	1974年8月号
子どもをとらえなおす本	1974年9月号
遊びながらの算数	1974年10月号
入学試験を考える	1974年11月号
授業記録のすすめ	1974年12月号
教員養成をどうするか	1975年1月号
道徳教育って、なんだろう	1975年2月号
学用品をめぐって	1975年3月号
子どもからみた学校	1975年4月号
幼児教育を考える	1975年5月号
ものをつくることと教育	1975年6月号
高校生は抗議する	1975年7月号
「落ちこぼれ」とは、なにか	1975年8月号
戦争を教える	1975年9月号
有名受験高校とは	1975年10月号
読み・書きの教育をみなおす	1975年11月号
戦争を忘れないために	1975年12月号
学校給食を子ども本位に	1976年1月号
教育の原型を求めて	1976年2月号
たのしい国語教育	1976年3月号
評価をどうする	1976年4月号
たのしい科学教育	1976年5月号
学歴社会と教育のゆくえ	臨時増刊号

教師が忙しさを超えるとき	1976年6月号
市民運動としての教育運動	1976年7月号
よみがえれ、算数・数学教育	1976年8月号
非行って、なんだ	1976年9月号
テストはなんのため?	1976年10月号
教育をむしばむ入学試験	1976年11月号
なんとかならないか、英語教育	1976年12月号
私にとって教科書とは	1977年1月号
家庭科って、なんだ	1977年2月号
やりがいのある行事づくり	1977年3月号
日本をダメにする序列主義	1977年4月号
自分たちの手で、幼児教育を	1977年5月号
生まれかわる国語教育	1977年6月号
みんなが楽しくできる体育	1977年7月号
続・生まれかわる国語教育	1977年8月号
家庭の教育	1977年9月号
内申書をなくそう	1977年10月号
親の生き方、子の育ち方	1977年11月号
ものをつくる授業	1977年12月号
自立のために学ぶ	1978年1月号
高校教育の変革をめざして	1978年2月号
家庭崩壊・登校拒否・自殺	1978年3月号
学級通信をつくるとは	1978年4月号
授業に賭ける	1978年5月号
なぜ、科学を学び、教えるのか	1978年6月号
若ものは、いま	1978年7月号
音楽・人間・教育	1978年8月号
共通一次試験に反対する	1978年9月号
読むことを好きにするには	1978年10月号
ほんとうの“ゆとりある”教育とは	1978年11月号
親の定年、子の定年	1978年12月号
子どものからだがダメになる	1979年1月号
“落ちこぼれ”のすすめ	1979年2月号
市民の手で新しい学びの場を	1979年3月号
原点としての障害児教育	1979年4月号
中学生をむしばむものはなにか	1979年5月号
見るマンガ、かくマンガ	1979年6月号
エリートって、なんだ	1979年7月号
学校のなかの暴力	1979年8月号
なぜ、いま、戦争を問うのか	1979年9月号
公害、この見のがせない現実	1979年10月号
子どもを生かす評価を求めて	1979年11月号
PTA、ほんとうはおもしろい	1979年12月号
いま、国語教育を問うとは	1980年1月号
障害児教育からの問いかけ	1980年2月号
遠山啓——その人と仕事	* 追悼特別号
市民運動としての「ひと塾」	1980年3月号

何が子どもの心を蝕むのか	1980年4月号
いまを生きる若者から	1980年5月号
点数を超える教育	1980年6月号
手づくりの算数・数学教育	1980年7月号
“おもしろい子”に育てよう	1980年8月号
子どもを殺す評価、生かす評価	1980年9月号
登校拒否	1980年10月号
授業をつくる	1980年11月号
いま、戦争を教えることの意味	1980年12月号
こうしたい、英語教育	1981年1月号
子ども・からだ・食べもの	1981年2月号
1年たった”ゆとりと充実”	1981年3月号
授業、いま、子どもの心をひらく	1981年4月号
いま、中学校でなにが起こっているか	1981年5月号
障害児教育こそ、教育の原点	1981年6月号
ことばは生きているか	1981年7月号
学校ファシズムがやってくる	1981年8月号
ふたたび戦争を教えることの意味を問う	1981年9月号
授業—子どもに学んでつくる	1981年10月号
能力差別を超えるには	1981年11月号
子どものエネルギーを引きだす	1981年12月号
競争原理を問いつづける	1982年1月号
若者に〈未来〉はあるか	1982年2月号
表現することは生きること	1982年3月号
授業をつくる急所	1982年4月号
騒然たる教育論議を	1982年5月号
中学校—受験・管理・非行との格闘	1982年6月号
社会科の授業—見えないものを見る力を育てる	1982年7月号
家庭よ、どこへ行く	1982年8月号
子どもの人権と学校の管理	1982年9月号
女先生って、いいな	1982年10月号
国語の授業・ことばで遊ぶ	1982年11月号
ほんとうの学力と受験学力	1982年12月号
ことばとファンタジー	1983年1月号
性と生・親と教師への提言	* 1983年2月号
子どもから出発する幼児教育	1983年3月号
先生に訴える	1983年4月号
授業を楽しくする法	1983年5月号
ふたたび性と生	1983年6月号
私教育のすすめ	1983年7月号
からだと心をひらく仕事	1983年8月号
学校を超えて生きる	1983年9月号
生きかえれ! 学校行事	1983年10月号
「いのち」の危機と教育	1983年11月号
子どもたちがワクワクする教室	1983年12月号
中学校—なぜこの現実から脱出できないのか	1984年1月号
ここに立てば管理教育が超えられる	1984年2月号

新しい人の結びつき・よい学びの場	1984年3月号
弱いものいじめ	1984年4月号
子どもが学びたがる授業とは	1984年5月号
若い先生の悩みが明日の教育を創る	1984年6月号
「生活点検」ってなんだ	1984年7月号
明日の授業を創るために	1984年8月号
グッバイ、管理主義	1984年9月号
食べものとかからだの授業	1984年10月号
新しい学校のイメージ	1984年11月号
よみがえれ、ことばの想像力	1984年12月号
沖縄の教育、いま	1985年1月号
授業・生きることの発見	1985年2月号
普通学級のなかの障害児	1985年3月号
登校拒否—子どもが学校を棄てはじめた	1985年4月号
知とは何か、授業とは何か	1985年5月号
やめてほしい、生活点検	1985年6月号
手づくり教具が教育を変える	1985年7月号
受験—選ぶ・選ばれるとは	1985年8月号
ひとが学び、育つとき	1985年9月号
教科書・指導書とは	1985年10月号
いじめをどう解決するか	1985年11月号
いまの子は”新人類”か	1985年12月号
私塾が学校を超えはじめた!	1986年1月号
班づくりは子どもをダメにしたか	1986年2月号
生き方を手さぐりする若者たち	1986年3月号
いじめ・体罰を許さない	1986年4月号
これが私たちの教育改革だ	1986年5月特大号
これが私たちの考える学力だ	1986年6月号
授業はこうして生まれる	1986年7月号
親の価値観、子の価値観	1986年8月号
教育の技術とはなにか	1986年9月号
自分のからだと対話する	1986年10月号
子育て・教育をめぐる人垣づくり	1986年11月号
十代—自立のドラマ	1986年12月号
ことばあそび+からだあそび	1987年1月号
子どもに居場所を!	* 1987年2月号
子どもの好奇心を引きだす	1987年3月号
少数者(マイナー)の生き方に学ぶ	1987年4月号
らくらくベーシック算数・数学	1987年5月号
授業の技術	1987年6月号
弱者の立場からのメッセージ	1987年7月号
少女期、その変身	1987年8月号
文章を読み、イメージ化する	1987年9月号
ストップ・ザ・体罰	1987年10月号
新提案、これで漢字はバッチリ	1987年11月号
親の教育責任は18歳まで	臨時増刊号
「死」をどう教えるか	1987年12月号

大道芸を教室へ	1988年1月号
子どもたちの学級共和国づくり	1988年2月号
子どもの絵に感動をとりもどす	1988年3月号
わたしの「殴らず」宣言	1988年4月号
音楽教育・歌をとりもどす	1988年5月号
いまどきの家族	1988年6月特大号
日の丸・君が代	1988年7月号
歴史離れの時代に <small>歴史教育の方法</small>	1988年8月号
歴史の授業をつくる <small>歴史ばなれの時代に</small>	1988年9月号
一目でわかる、教具づくり	1988年10月号
教育産業と子育て	1988年11月号
「教育技術の法則化運動」症候群	1988年12月号
家庭科への新提案 <small>現代の食べものといのち</small>	1989年1月号
日の丸・君が代をどう教えるか	※ 1989年2月臨時特大号
登校拒否の新しい局面	1989年3月号
「法則化運動」をさらに検証する	1989年4月号
登校拒否とのとり組みに学ぶ	1989年5月号
授業——教師中心か、子ども中心か	1989年6月号
学校が変わる——汚染された高石指導要領	1989年7月号
高石指導要領を超える <small>「日の丸」「神話」「道徳」をどう教えるか</small>	1989年8月特大号
国際化って、なに？ <small>—授業でアジアとどう出会うか</small>	1989年9月号
「殺しの文化」から「いのちの文化」へ—自然観を変える	1989年10月号
海外帰国生の授業への提案—“学び”を見つける	1989年11月号
先生が変わる—忠誠のシステム	1989年12月号
子どもの世界が見える本 <small>ブックガイド100冊</small>	別冊
幼女連続誘拐殺人事件を起こした若者はなぜ？	1990年1月号
スポーツ・体育ってなんだっけ？	1990年2月号
ゴミの授業をつくる	1990年3月号
漢字がたのしくなる本	1990年4月号
明治から平成まで変わらなかった教育	1990年5月号
<small>公開質問状をめぐるの論争検定教科書で英語ができるようになるか</small>	1990年6月号
SOS！ <small>ゴミで日本は滅びる</small>	1990年7月号
自分らしさと「子どもの権利条約」	1990年8月号
「日の丸・君が代」90’ s <small>あなたは どうする？</small>	1990年9月号
「教育技術の法則化」をやってみる	1990年10月号
あわせ漢字と部首を教える	1990年11月号
生活科、いま実践のチャンス	1990年12月号
性——ありのままの自分がいい	※ 1991年1月号
授業・ゴルフ場って、なんだ？	1991年2月号
子どもの眼でみる現代—社会科の授業から	1991年3月号
追いつめられた子どもたち—学校が危ない	1991年4月号
ことばを甦らせる” ことば遊び”	※ 1991年5月号
宮沢賢治の教師としての仕事	1991年6月号
この1年、「日の丸・君が代」’ 91	1991年7月号
形声文字をつかめば、漢字がわかる	1991年8月号
「自然」を学び、暮らしを変える	1991年9月号
読み—作品が子どもを育てる	1991年10月号

日常のなかの優生思想	1991年11月号
ゴミと原発	1991年12月号
日常のなかの子どもたちの異変	1992年1月号
日本史に異質社会を掘りおこす	1992年2月号
親の言い分、先生の言い分	1992年3月号
再生紙とアルミ缶からあばかれる日本	※ 1992年4月号
漢字はぜんぶ遊びでまなべる	※ 1992年5月号
性、エイズから従軍慰安婦まで	1992年6月号
授業・戦争、徴兵拒否、賠償、広告……	1992年7月号
私たちのなかの優生思想を超える	1992年8月号
’92変わりゆく「日の丸」「君が代」	※ 1992年9月号
蝕まれ、漂白される子どもたち	1992年10月号
漢字の学びの急所	1992年11月号
日本の学校のゆくえく(パート1) 自由の森学園	1992年12月号
日本の学校のゆくえく(パート2) 改革への希望	1993年1・2月合併号
若者がしあわせを感じるとき	1993年3月号
不安とつきあう	1993年4月号
AVにつくられる男たちのセクシュアリティ	※ 1993年5月号
現代の親子関係・あなたは子殺しと無縁か	※ 1993年6月号
動物に学ぶ——みる・きく・まねる	1993年7月号
学校まかせでない子育て	※ 1993年8月号
エネルギー・ゴミ問題の解決案を提案する	1993年9月号
危険な公文式早期教育	1993年10月号
宮沢賢治をやっつけろ	※ 1993年11月号
文部省版”新しい学力観”で学校は改革できるか	※ 1993年12月号
あなたが変わる、子育て・授業が変わる	1994年1月号
だれでもできる国語術	別冊1
やってみませんか、元気がでる授業	別冊2
授業「ピープル・ウィズ・エイズ」	別冊3
食べものを科学する	別冊4
“遊ばされる”から“遊ぶ”へ	別冊5
日常生活で“地球”の課題をイメージする	別冊6
“教え”から“学び”への転換—新しい学力観	1994年2月号
公文式早期教育・プリントの徹底検討	1994年3月号
家族を超える結縁ネットワーク	※ 1994年4月号
親子関係のリストラ—みんなが孫悟空	1994年5月号
地球を食いあらず\$ (ドル) —マナーの授業	1994年6月号
新しい学びの構図	1994年7月号
大人になるのが至難の時代	※ 1994年8月号
学校に噴きだす家族の病理	1994年9月号
暮らしの水汚染・その循環	1994年10月号
教師たちの燃えつき現象	1994年11月号
早期教育という迷信	1994年12月号
これでよかったのか”戦争と平和”の教育	1995年1月号
いま、教育の争点はなにか	1995年2月号
生きること 学ぶこと <small>ケア・学び・いじめ・環境</small>	1995年3月号
足もとからの学校改革 <small>いま、できること！</small>	1995年4月号

学びのなかで“いじめ”を超える	1995年5月特大号
おとなの学び・子どもの学び	1995年6月号
書くことと繋がること <small>フレネ教育・生活綴り方・コンピューター</small>	1995年7月号
教師たちの癒し <small>自分を生きぬく</small>	1995年8月号
学校に出没するヘンなおじさん・おばさんたち	1995年9月号
オウム の身体 <small>教育の世紀末を超えて</small>	1995年10月号
読むことの快樂	1995年11月号
検討・教育実践の50年	1995年12月号
21世紀の学校ヴィジョン	1996年1月号
絶対性なき時代の科学教育	1996年2月号
新教師論「女流儀のやり方・生き方」	1996年3月号
不登校、これからどうなる	1996年4月号
死と戯れる子どもたち	1996年5月号
“教えられた戦争”を根底から問う	1996年6月号
“教育”を紡ぐ小さな物語	1996年7月号
学校間通信 <small>開じた学校をひらく</small>	1996年8月号
蹴つとばせ、中教審！ <small>これから学校はどうなる？</small>	1996年9月号
教師たちを救え！ <small>その処方箋</small>	1996年10月号
自分いじめの子どもたち	1996年11月号
自分の足でうごく国際交流 <small>学校が変わる</small>	1996年12月号
“学び”のための教育宣言 <small>参加し、交わり、つながること</small>	1997年1月号
学力幻想をぶっとばせ！	1997年2月号
学校がスクラップされる！	1997年3月号
商品化される性、どろんと虚ろな身体	1997年4月号
子どもがつくる学びのスタイル <small>さらば正解主義！</small>	1997年5月号
入試改革・学力テスト・内申書——評価とは？	1997年6月号
「自由主義史観」を超えて	1997年7月号
ディスコミュニケーションを超えて繋がる	1997年8月号
表現が生まれるとき	1997年9月号
「透明な存在であるボク」とはなにか？	1997年10月号
なぜ小学高学年が“荒れる”のか	1997年11月号
モノ・こと・人から学ぶ <small>教師になるために</small>	1997年12月号
学校=教育再生へのアプローチ	1998年1月号
子どもと大人の断絶をどう超える？	1998年2月号
学びとライフスタイルの転換へ	1998年3月号
ひとネットワーク <small>第1号</small>	1998年4月号
ひとネットワーク <small>第2号</small>	1998年6月号
ひとネットワーク <small>第3号</small>	1998年8月号
ひとネットワーク <small>第4号</small>	1998年11月号
ひとネットワーク <small>第5号</small>	1999年1月号
ひとネットワーク <small>第6号</small>	※ 1998年12月号
リニューアルひと <small>Vol.1 読む</small>	1999年9・10月号
リニューアルひと <small>Vol.2 なぞる</small>	1999年11・12月号
リニューアルひと <small>Vol.3 傷つく</small>	2000年1・2月号
リニューアルひと <small>Vol.4 うつす</small>	2000年3・4月号
リニューアルひと <small>Vol.5 黙る</small>	2000年5・6月号
リニューアルひと <small>Vol.6 侵す</small>	2000年7・8月号

2009年4月4日	
シンポジウム	
『ひと』の歩みを	
ふり返る <small>資料</small>	
Excelデータで	
差し上げられます。	
申込先	
太郎次郎社	
エディタズ	
Tel.03-3815-0605	
e-mail:	
tarojiro@tarojiro.co.jp	